

# 七小校長室便り

開校50周年

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.8 令和4年(2022年)11月22日



## 11月16日(水) 教育委員会の訪問がありました。

毎年、国立市では、教育委員会の訪問が年に1回設定されています。

教育委員会には、雨宮教育長をはじめ4名の教育委員の皆様と、教育部長をはじめとする各課の課長、並びに指導主事、教育センター所長、教育支援室長、学校支援センター所長、その他にたくさんの方がいらっしゃいますが、11月16日(水)は、前述の代表の方々が今年度の学校状況や子供たちの学びの様子等をご覧になる機会として、来校されました。

実は、教育委員の皆様は、どの方も積極的に学校を訪問されており、いつも学校を励ましていただいております。また、本校の子供たちの様子や学校状況もよく知っていただいておりますが、先日は、改めて本校の今年度の取組を説明し、現在の状況や課題についてお伝えしたり、開校50周年記念式典の取組について、説明をしたりする機会となりました。

また、短い時間ではありましたが、子供たちの授業への取組の様子も参観いただき、学びの様子や教職員の指導や支援の様子もご覧いただきました。参観後には、今年度の教育目標の重点項目である「やさしく」の取組や子供たちの様子を通して、ご感想等をいただきました。

次に、いただいた内容について、一部ではありますが、簡単にお知らせいたします。

### ○学校経営方針の内容から

- ・重点目標を「やさしく」としていることにより、「かしこく」と「げんきよく」を育てていくための土台となる。
- ・子供を「一人の人として」と捉えることは、人権という観点からとても大切なことである。
- ・国立市の推進するフルインクルーシブ教育について、学校と情報や状況を共有しながら、推進を図っていききたい。

### ○授業参観から

- ・子供たちが先生に注目している姿が多くあった。また、学習に集中している子供が多かった。
- ・端末を適切に活用することにより、子供たちが授業に集中し、取り組んでいた。
- ・英語が、当たり前の学習となっていて、スムーズに授業が行われている。
- ・どの学級も明るく学習に取り組んでいる様子があった。
- ・授業が先生からの一方通行でなく、先生と子供の双方向となっていて、個別にも対応していた。
- ・教員経験の少ない先生においても、子供たちを集中させている授業の様子があり、素晴らしい。
- ・子供の学習時におけるつぶやき(発言)をしっかりと取り上げ、全体で確認していた。
- ・学習内容について、掲示物等を活用することで、見える化し、理解しやすいようにしていた。
- ・道徳の授業を通して、「やさしく」に繋がる学びを高めている様子があった。また、地域との関わりの教材を通して、地域を大切にすることを学ぶ機会としていた。
- ・子供同士が声の音量に気を付けて、関わり合いを大切にしている姿があった。
- ・学習の中に、一人で課題解決が難しい友達に対して、お互いに教え合う姿があった。
- ・子供の学習時の関わりの様子や姿から、「やさしく」が現れている場面があった。
- ・子供たちとすれ違う際に、「おはようございます。」の挨拶があり、嬉しかった。日常的に指導されていることもよく分かった。
- ・理科の授業において、子供たちを引き付ける工夫がなされていて、学びが楽しく行われていた。

以上のようなお話をいただきました。お褒めの言葉が多く、本校の教職員とも共有し、これまで以上により良い教育活動としていくことを確認しました。

また、本校の全ての子供たちにとって、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」について、改めて、チーム七小として語り合い、検討しながら、来年度の教育課程及び来年度以降の教育活動を見極めてまいりたいと思います。ご来校いただきました教育委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。



## 11月19日(土)土曜授業参観・学校評議員会を行いました。

### ○授業参観について

2学期における授業参観の2回目を11月19日(土)に行いました。

朝からよく晴れた秋空の下、前回の9月の授業参観でご覧いただけなかった保護者の皆様や地域の代表の方にご来校いただき、子供たちの授業の様子や取組について、ご参観いただきました。

現在、コロナ禍の感染状況は、一時期の低い水準での停滞から増加傾向が続いており、先を見通すのは、なかなか難しいところではありますが、2学期の授業参観においては、2回に分けて分散してご覧いただき、保護者の皆様にご協力いただいたことで、無事に終えることができました。

2回の分散に関しては、安全と安心を第一優先に、新型コロナウイルス感染症対応としての工夫した取組としております。これからも社会状況を見通し、見極めながら、対応を検討してまいります。学校としては、保護者の皆様にご覧いただける状況が来ることを切に望んでいます。

3学期には、開校50周年記念の展覧会を開催いたします。多くの保護者の方にご覧いただけるよう、引き続き、工夫と努力を重ねてまいりたいと思います。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



### ○第2回 学校評議員会について

本校には7名の学校評議員の皆様がいらっしゃいますが、卒業式や入学式、運動会等の学校行事や授業参観など、社会情勢を見極めながら参観いただける機会をできる限り設定しております。

11月19日の土曜授業参観にもご来校いただき、当日の午後、第2回の学校評議員会を開催しました。評議員会では、今年度の学校状況について、校長の私と、教務主任や生活指導主任、研究主任から、今後や来年度の学校行事、学力調査や子供たちのアンケートの結果、学校満足度調査等の分析を通して作成した学校評価書の中間報告を行い、現段階の評価と課題についてと、その解決のための手立てなどをお知らせし、ご意見やご質問をいただきました。

評議員の皆様からは、地域における子供たちの挨拶の様子や子供の行動や姿について、授業参観で学習に集中している子供の様子、運動会における子供への教職員の対応、体力への課題、学習における積み残しのない取組等、多岐にわたりお話をいただきました。いただいた内容については、取組や対応について精査し、今年度と来年度の教育活動に反映させていきたいと思っております。

### 本校の教育活動に関するアンケートにご協力を。

11月14日(月)に子供たちを通して、配布いたしましたアンケートについて、お忙しい中とは思いますが、ご提出または、オンライン回答をお願いいたします。頂いた評価やご意見については、来年度以降の本校の教育活動の改善や継続、様々な取組の検討や見直しをする上で、大変貴重なものとなります。特にアンケートの集計においては、70%以上の回収率になると、統計学的にも信頼性が高いものとなってきます。締切については、11月25日(金)までとなっております。改めまして、たくさんの方のご協力をお願いいたします。

### 開校50周年記念の取組に対するご理解をお願いいたします。

現在、学校では、令和5年2月24日(金)の開校50周年記念の児童集会及び記念式典に向け、様々に準備を行っております。過日の10月25日(火)には、記念誌に掲載するための各学級の写真撮影を行いました。現在のデジタル技術により、当日、欠席をした子供たちについては、より自然な形になるように工夫していただき、写真に納まるようにしてあります。

また、全校児童や教職員による航空写真については、ドローンによる撮影へと技術革新がなされており、目の前で飛ぶドローンの姿に驚いたり、喜んだりしている子供たちの姿が印象的でした。出来上がった写真は、デジタル技術の工夫により50周年のお祝いに相応しいものとなりました。実際にお見せできないのが残念ですが、式典当日までのお楽しみとなります。

航空写真における当日参加できなかった子供や職員については、残念ではありますが、加工処理が難しいため、そのままの写真となっております。ご了承ください。また、全校一斉の集合写真も撮影しましたが、コロナ禍となってからは学校全体が一度に集合する機会が少なくなり、全校児童やたくさんの大人がいる空間に慣れない子供たちやなかなか気持ちが落ち着かない子供たちもいました。それぞれがそれぞれにもつ気持ちや思いを大切にして、撮影を行わせていただきましたが、写り具合については、上記のような子供たちの状況もあり、それぞれに保護者の方と確認をさせていただきながら、記念品のクリアファイルとして配布いたします。これも当日までお待ちください。

本校の開校50周年記念の取組は、これからも心のこもったものとなるよう努めてまいります。保護者の皆様のご理解をいただきながら、引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

今回の校長室便りの「校長のつぶやき」は、紙面の関係上、省略いたします。